

News Release

2019年3月22日

株式会社日立産機システム

ロボットシステムインテグレーター ケーイーシーの買収契約を締結

生産ラインの自動化など、ファクトリーオートメーション分野におけるロボティクスソリューション事業を強化

株式会社日立産機システム(取締役社長:荒谷 豊/以下、日立産機)は、自動車を中心に各種産業において産業用ロボットを活用した生産ラインの構築事業を展開する、株式会社ケーイーシー(代表取締役社長:市来 浩/以下、ケーイーシー)の100%の株式を、東京海上キャピタル株式会社(以下、東京海上キャピタル)より取得する買収契約を3月20日に締結しました。日立産機と東京海上キャピタルは、今後、本契約に基づき2019年4月中の買収完了に向けて手続きを進めます。

ケーイーシーは、1981年の創業以来、ロボット SI^{*1} 事業を展開し、自動車を中心にさまざまな製造現場における生産ラインの自動化を行い、お客さまの業務効率化を支援してきました。生産ラインのシステムおよび設備構築に計画段階から携わり、設計・製作と据付、メンテナンスに至るまでの一貫したソリューションを提供することにより、生産工程の自動化に関するお客さまの課題解決に豊富な実績を有しています。特に、産業用ロボットを活用した溶接工程におけるロボット SI 技術に独自のノウハウと強みを持っています。

日立グループのインダストリー分野^{*2} では、産業系のお客さまのベストソリューションパートナーをめざし、プロダクト、OT^{*3}、IT を組み合わせたデジタルソリューション事業をグローバルに拡大していく計画です。その中で、空気圧縮機やモーターなどの産業機器事業を展開する日立産機は、モノづくりを通じて培ったプロダクトのノウハウや、IoT に対応したコネクテッドプロダクトなどの制御技術を強みとして、搬送・組み立て工程を中心としたロボティクスソリューション事業を展開し、お客さまの製造現場における産業用ロボットを活用した自動化・業務効率化に貢献しています。

日立産機は、本買収により、日立グループが有するプロダクト、OT、IT とケーイーシーが有する溶接工程におけるロボット SI 技術や豊富なノウハウを融合させることで、ロボティクスソリューション事業における競争力を向上させます。日立グループが展開しているデジタルイノベーションを加速させる Lumada ソリューションを活用し、生産年齢人口の減少に伴い今後高成長が見込まれるファクトリーオートメーション市場において、ロボット制御技術や製造現場のデータ分析、予兆検知技術なども組み合わせた付加価値の高いソリューション事業のさらなる拡大を推進します。

■ケーイーシーの概要

名称	株式会社ケーイーシー
所在地	岐阜県各務原市テクノプラザ 2 丁目 15 番地
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 市来 浩
事業内容	自動車および各種産業用の自動化設備の設計・製造
設立年月日	1981 年 3 月
資本金 (2018 年 3 月時点)	1,500 万円
株主構成	東京海上キャピタル株式会社 (100%)
従業員数 (2018 年 10 月時点)	約 80 人 (連結:約 110 人)
連結売上高 (2017 年度実績)	約 58 億 1,300 万円
ウェブサイト	http://www.kec-corp.jp/

*1 SI: Systems Integration

*2 日立製作所の「2021 中期経営計画」における、注力 5 分野のひとつ。

2019 年 2 月 1 日 日立製作所ニュースリリース「2021 中期経営計画」でめざす、グローバルリーダーへの変革に向けた事業体制の強化について」<http://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2019/02/0201b.html>

*3 OT(Operational Technology): 制御・運用技術

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
